



いこいな
©シエイ/西東京市

にしとうきょう

広報

感動の一瞬を、ともに!

トップアスリートが魅せる熱い戦いと勇姿は、毎回感動と勇気をもらえます。また、それを支える多くのスタッフも一流。チームワークの全てがかみ合った瞬間もまたスポーツの醍醐味。そこで日本代表チームを支える西東京市にゆかりのある3人をご紹介します!

パリ

オリンピック

7/26~8/11

パラリンピック

8/28~9/8

観て応援

▶スポーツ振興課 ☎042-420-2818

パラ卓球(立位) 監督



令和4年からパラ卓球(立位)ナショナルチームの監督に就任。選手としては過去最高世界ランク25位を誇り、現在は監督としてポジティブに未来に向かう伴走型の指導が、少しずつ花開く瞬間に期待がかかります。

後列：左からPR親善大使 森蘭美咲監督・舟山真弘選手・岩淵幸洋選手、前列：阿部準万選手

パラ卓球は「車いす」と「立位」の部に分かれ、障害の重さにより5段階のクラスが設けられ、知的障害クラスと合わせて全11クラス。見どころは、多種多様なプレースタイル。一般の卓球のような「型」を中心とした戦い方が少ないというのも特徴。そこで、相手のプレースタイルや弱点を試合の中で素早く分析し対策を立てる独特の戦略・戦術や、スピードのあるラリーは見応えがあります。

パラ卓球(車いす) 監督



現役時代は守備範囲の広いカットマンとして数多くの成績を残し、シチズン時計株式会社卓球部の監督を歴任。令和5年にパラ卓球(車いす)ナショナルチームの監督に就任。「選手たちと“楽しんで”強化していきたい」と語り、楽しみながら世界トップを目指す山本流の指導が、実を結ぶのか期待がかかります。

後列：山本恒安監督(市内在住)

前列：左から宇野正則選手・松尾充浩選手・細谷直生選手・北川雄一朗選手

卓球チームサポート



大会期間中、トップアスリートを支えるチームスタッフとして帯同。現在は選手であり静岡ジェードの監督も務める。2つの視点でアドバイスができる最良のパートナーとして卓球チームをサポートします。

PR親善大使 森蘭政崇さん

食べてパリ気分

▶秘書広報課 ☎042-460-9804

森蘭美咲さんに聞いた!

パリから“帰国したら行ってみたい”フランスを感じる市内のお店。なかなか現地には行けないけど…このほかにもたくさんある市内のフランス料理やパティスリー、ブーランジェリーを探し、みなさんも気分はパリへ!

1 Cafe Restaurant LaVet (カフェ レストラン ラベット)

ひばりが丘1-6-4 萩原マンション101 定休日(水)

市内シェアキッチンでの営業を経て、念願の路面店をオープン。数十種類の野菜を使用したソースで煮込む“牛タンの赤ワイン煮込み”がイチオシ!

3 Restaurant けんぞう

田無町6-16-13 定休日(月)(祝の場合火)※月1日不定休あり

西東京市フレンチの先駆け。自家農園や地元農家の新鮮野菜を大切に、都心の星付き店やフランスで腕を磨いた2代目シェフによるカジュアルコースが人気。

5 Bistro Chadama (ビストロ チャダマ)

南町4-4-2 プリンズプラザ田無 1F 定休日(日)・(月) ※不定休あり

カウンターで食べるカジュアルフレンチ。オープン1周年にもかかわらず、応援したい!と多くの人が集まる。市内産野菜をふんだんに使ったシェフの気まぐれサラダや佐賀牛のグリルが人気。

2 アトリエ モンカヌレ

東町1-6-6 ビューラー東町103 定休日(月)・(火)

フランス人パティシエ、フィリップさんが焼く本格的カヌレ。焼き立てを食べてほしいとイトインスペースもあり、地元の人に愛される憩いの場に。

4 BISTRO GAMAY ビストロ・ガメイ

田無町4-16-1 横尾ビル1F 定休日(水)

正統派フレンチが気軽に楽しめる。パリッと焼かれた皮目にふっくらした身の真鯛のポワレやローストビーフが人気。長年通うファンも多く、記念日にもおすすめ。

6 gouter de yoko グーテ ド ヨーコ

新町1-13-10 NEIGHBORS西東京 (火)のみの営業

本格的フランス焼き菓子の店が4月にオープン。発酵バターが香るマドレーヌやスコーンを食べられるのは週に1度!2階には、のんびりできるカフェスペースも。



市HP